

萩野小学校開校150年記念

「萩野ふれあいYEAR2022（仮称）」開催・実行委員会設立について

趣 意 書

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は萩野小学校、萩野小学校PTA並びに萩野自治区の活動に御理解・御協力をいただきありがとうございます。

さて、日本における少子高齢化は加速度的に進みつつあり、萩野地区も例外ではなく、山間に位置する本地域は、その傾向がより顕著となっています。次年度の萩野小学校の在籍児童数は17人（家庭数12人）の完全複式学級となり、市内においても最も小規模な学校となりました。また、萩野地区の平均年齢は54歳（市平均45.6歳）となり、年々少子高齢化が進んでいる状態です。

日本全体の人口減少の中、萩野地区の人口減少はあるとしても、年齢層に偏りがなく、どの世代もバランスよく存続させることで、萩野地区の活力を維持させることができます。とりわけ子ども、若い世代（20代～50代）の存続のためには、地域にある萩野小学校と子どもを大切にして育てる地域の存在が重要です。

今後、本地区が持続可能な地域社会づくりを目指し、生き生きとしたコミュニティを築くため、地域における「人」「もの」「こと」をつなげ、交流を深めることができます。そこで、令和4年度（2022年度）に萩野小学校が開校150年の節目を迎えるにあたり、当年度に「萩野ふれあいYEAR2022（仮称）」を開催することを目指し、実行委員会を設立させ、その企画の検討と実行を促したいと思います。この取組を通して、ふるさとを愛し、地域住民が明るい未来を切り拓く活力を生み出す契機となることを願っています。

皆様方には、本趣旨に御賛同いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年3月吉日

発起人 吉田 修（萩野小学校長）
 鈴木 通仁（萩野小PTA会長）
 青木 信行（萩野自治区長）